

(様式第4号)

上田市廃棄物処理審議会 会議概要

1 審議会名	第4回上田市廃棄物処理審議会
2 日時	平成29年11月20日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田地域広域連合上田クリーンセンター 4階 会議室
4 出席者	中村彰会長、金子幸恵副会長、太田芳枝委員、熊谷唯委員、栗田たか子委員、 桑原茂実委員、小林裕美委員、小柳繁弘委員、齊藤ゆり子委員、佐藤昭秀委員、 城田浩靖委員、関川久子委員、森本英嗣委員
5 市側出席者	山口生活環境部長、峰村資源循環型施設建設推進参事、小坂資源循環型施設建設関連事業課長、佐藤資源循環型施設建設関連事業係長、岩下リサイクル推進係長、津久井廃棄物指導係長、土屋丸子市民サービス課長、武捨真田市民サービス課生活環境担当係長、下村武石市民サービス課長、北島ごみ減量企画室長、鈴木ごみ減量企画係長、田中ごみ減量企画室主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年11月21日

協議事項等

1 開 会 (山口生活環境部長)
2 会長あいさつ (中村彰会長)
3 議事
(1) ごみ処理基本計画 (素案) について
① ごみ処理基本計画 (素案) について
・ 資料に沿い、鈴木ごみ減量企画係長から前回の審議を踏まえて修正等をした箇所について新旧対照表により整理した概要を説明
・ 以降、質疑応答
(委員) 3Rに拒否する意味の Refuse (リフューズ) を加えて 4R とする必要はないか。
(事務局) まず 3R の定着を図りたい。
(委員) 「第5章 目標達成のための施策-第1節 個別施策-1 協働による 3R でごみ減らし-①市民の役割-生ごみの減量化-〇堆肥化の推進」で、ごみ減量化基材「ぱっくん」を申込みに来るのは畑のある方が多く、本当は市街地の方に使っていただきたい。農家の方が野菜を処理しきれずに「ぱっくん」を毎月申込みに来る。土からできたものは土に還すという基本に戻ることが必要なので、自家処理を前提とすることを強く表現してもらいたい。
(事務局) 自家処理の推進という文言を入れているが、記載方法は検討する。
(委員) 堆肥化の方法は、ごみ減量化基材「ぱっくん」だけではなく、腐葉土や小糠を使ったやり方もあるので、知らせることが必要。
(事務局) 他の堆肥化の方法については、ごみ減量アクションプランで入れていきたい。
(委員) 「第5章 目標達成のための施策-第1節 個別施策-1 協働による 3R でごみ減らし-②事業者の役割」で、「拡大生産者責任」という言葉があるが一般の方が理解できるか心配なので、用語の説明を入れた方がいい。
(事務局) 「拡大生産者責任」とは、生産したものを最後 (処分) まで責任を持つという意味だが、用語の説明を入れるようにする。
(委員) 「第5章 目標達成のための施策-第1節 個別施策-1 協働による 3R でごみ減らし-②事業者の役割-食品ロスの削減-〇食品残渣、食べ残しの削減」で、「堆肥化に努めます」という表現になっているが、現在堆肥化に努めている事業者は把握しているか。
(事務局) 一部把握しているが、堆肥化はコストがかかるので進んでいない。実態調査を実施し、要望や問題を洗い出す。一般廃棄物なので自治体に処理責任があり、大型生ごみ処理機に補助をしている自治体もある。今回の計画では、事業系ごみをいかに減らすかがポイント

なので、今までにない取り組みも必要になってくる。

(委員) 事業系一般廃棄物の生ごみについて、事業者と一括りにせず、飲食業に限定できないか。

(事務局) 生ごみが多く出るのは、宿泊業、飲食業、卸・小売業だが、事業系一般廃棄物は、事業所の中で従業員が飲んだ缶コーヒーの空き缶でも事業系ごみになり、物によっては産業廃棄物になる等、全ての事業者が該当する。

(委員) 事業者責任として、容器包装リサイクル法により、販売額に応じて費用負担している。事業者の業種や規模等で定義するのはなかなか難しい。

(事務局) 家庭系ごみと事業系ごみを区別できない個人商店等も事業者で、自治会の承諾及び市への申請が必要だが小規模事業者専用指定袋でごみ集積所に出すことができる。一方、大きな事業所は自己処理や委託処理になってくる。

(委員) 「第4章 計画目標値の設定－第3節 目標値の設定－2 目標値の考え方【目標値2】可燃ごみ排出量」で、「直近10年間の中で最も少なかった平成21年度の実績値」とあるが数値を入れないとわかりづらい。

(事務局) 数値を「【目標値2-2】事業系可燃ごみ量」で入れているので、前段では省略する。

(委員) 「【目標値2-2】事業系可燃ごみ量」で、「外部経済要因もあります」という文言は削除した方がいい。

(事務局) 承知しました。

- ・ごみ処理基本計画（素案）について原案どおり承認
- ・記載内容の骨格は変えず、文章表現等の見直しについては、事務局に一任
- ・パブリックコメントによる意見募集を行う。出された意見やアクションプラン検討内容等によっては、基本計画へ反映する場合がある。

②剪定枝木の他市取り扱い状況について

- ・資料に沿い、田中ごみ減量企画係主任から剪定枝木の他市取り扱い状況について概要を説明
- ・以降、質疑応答

(委員) 剪定枝木等は燃やせないということが前提なので、畑のある方は落ち葉を腐葉土にする等処理してもらいたいが、なかなか難しい。県内でも剪定枝木等の収集を実施している市があるので、ぜひ実施してもらいたい。西東京市でも草や葉は透明なビニール袋で、枝はまとめて無料で収集しており、全国的に広がってきている。

(委員) 落ち葉や剪定の時季なので、集積所を見ると燃やせるごみ指定袋2袋以上出ている。無料であれば集積所にたくさん出してしまうので、相応の費用負担は必要ではないか。

(委員) 私の家では小学校の落ち葉が入ってくるが、どこの落ち葉か分けられない。環境美化にもつながるので、有料・無料に関わらず気楽に出せるのはいい。

(事務局) 基本計画では剪定枝木を収集する方向性を入れ込んでいる。さらに、アクションプランに入れ、アクションプランを実行に移す段階で議論をしていただきたい。無料の自治体もあるし、有料の自治体もあり、費用負担が問題になる。

(委員) 市から配布される環境美化袋で落ち葉を集めている方もいる。微妙な問題だが、除雪と同じで、自分の家の前は自分できれいにする精神が大切。

(委員) 処理業者を通すと加工費や運搬費がかかってしまうので、市の収集日に集めるのが一番いいと思う。

(委員) 犬の散歩中に、庭でブロック塀を組んで落ち葉を燃やしている方が結構いたので、対策を考えていただきたい。

(事務局) 野焼きの禁止については啓発を進めているが、関係課と話しさらに啓発していきたい。

(2) ごみ減量アクションプラン（素々案）について

- ・資料に沿い、北島ごみ減量企画室長からごみ減量アクションプラン（素々案）について概要を説明
- ・以降、質疑応答

(委員) 「IV 目標達成のためのアクション（施策の展開）－3 市民・事業者・行政の連携によ

るアクション」で、都道府県別レジ袋の無料化実施調査結果によると、コンビニ、百貨店、ドラッグストアはほとんどが有料化していない。有料化は難しいと思うが、過剰な包装をしないよう上田市が率先して働きかけることは可能か。会社との協定になると思うが、実施時期も含めて、そういう所まで踏み込んでいけるといい。

(事務局) レジ袋の削減は長野県が県民運動をしている。内容を含めて検討したい。

(委員) レジ袋の削減に関連して、エコストアの認定について、ごみ減量アドバイザーの働きはどうなっているか。

(事務局) 来年の1~2月に、2年に一回実施しているエコストアの調査に入る。以前は、スーパーでレジ袋を必要かどうか聞いていた。現在は、無料で出す所もあるのが現状。

(委員) エコストアに認定されていない所をどう巻き込んでいくかが課題。

(事務局) エコストアはごみの有料化と同じ時期に始まり非常に歴史がある。今一つ広がっていないのが現状。まずは、事業者との話し合いをし、実態や意見を踏まえアクションプランに入れていきたい。

・ごみ減量アクションプラン(素々案)の構成内容について原案どおり了承。次回施策の展開を示す。

(3) 今後開催日等について

・資料に沿い、鈴木ごみ減量企画係長から今後の審議の予定等について概要を説明

(事務局) 第5回は「平成29年12月19日(火)午後1時30分から、上田クリーンセンター」。
基本計画について、パブリックコメントを平成29年12月21日から平成30年1月12日まで実施する予定。

(会長) 第6回は「平成30年1月25日(木)午後1時30分から、上田クリーンセンター」としたい。

(委員) 承知。

(4) その他

(委員) 「残さず食べよう!30・10(さんまる・いちまる)運動」ポスターについて、各自治会に掲示要請はあるか。

(事務局) 大型ホテル等に配布する予定。

(委員) 長野大学で料理の上にかける紙も作ったと思うので、ぜひ活用していただきたい。

(事務局) 料理の上にかけるタイプ、お酒のビンにかけるタイプ、ちょうちんタイプのものもある。行政が作ると文字がいっぱいになってしまうが、長野大学生のコンセプトは「何だろう」と思わせるものになっている。

(委員) ごみの分別をきちんとしている学生もいるが、していない学生もいる。

(委員) 大学の生協でレジ袋を出していて、そのレジ袋にそのままごみを入れ封をして捨てるので、分別しない。

4 開 会 (山口生活環境部長)